

平成30年度 第72回千葉県中学校総合体育大会 柔道大会要項

1. 趣 旨 千葉県中学校における体育の健全な発達と、中学校スポーツの振興に寄与し、併せて生徒の健康を増進し、その生活を豊かにする。
2. 主 催 千葉県教育委員会、東金市教育委員会、（公財）千葉県体育協会
千葉県小中学校体育連盟
3. 主 管 千葉県小中学校体育連盟柔道専門部
4. 後 援 千葉県中学校長会、千葉県教職員組合、朝日新聞千葉総局、毎日新聞社千葉支局
読売新聞社千葉支局、千葉日报社、NHK千葉放送局
5. 期 間 平成30年7月27日（金） 個人戦
28日（土） 団体戦

| | | | |
|--------|-------------|---------------|--------------|
| 28日（金） | 開 館 | 8時00分 | |
| | 個人戦受付 | 8時00分～8時40分 | 東金アリーナ玄関ロビー |
| | 個人戦計量・柔道衣検査 | 8時10分～9時00分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 審判・監督会議 | 9時10分～9時30分 | 東金アリーナサブアリーナ |
| | 開 会 式 | 9時45分～10時05分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 男女個人戦 | 10時15分～16時20分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 個人戦表彰式 | 16時30分～16時50分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 閉 館 | 17時30分 | |

| | | | |
|--------|-------------|---------------|--------------|
| 29日（土） | 開 館 | 8時00分 | |
| | 団体戦受付 | 8時00分～8時40分 | 東金アリーナ玄関ロビー |
| | 団体戦計量・柔道衣検査 | 8時10分～9時00分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 審判・監督会議 | 9時10分～9時30分 | 東金アリーナサブアリーナ |
| | 開 会 式 | 9時45分～10時05分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 男女団体戦 | 10時15分～15時00分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 団体戦表彰式 | 15時30分～15時50分 | 東金アリーナ試合会場 |
| | 閉 館 | 16時40分 | |

※ 受付は両日とも学校単位で行う。

27日（金）は個人戦のみ受付を行う。28日（土）は団体戦の受付を行う。

※ 27日（金）は個人戦のみ計量を行う。28日（土）は団体戦の計量を行う。

6. 会 場 東金アリーナ 〒283-0063 千葉県東金市堀上 1361-11 TEL 0475-50-1715

7. 参加資格

- (1) 学校教育法による中学生で、県内の公、私立中学校に在籍している者に限る。
- (2) 原則として小中学校体育連盟各支部主催の予選を通過したもの。
- (3) 参加者は千葉県小中学校体育連盟加盟校に在籍し、校長及び各支部体育連盟会長が参加を認めた1校単位で編成されたチームとする。
- (4) 年齢が平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた生徒に限る。
- (5) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、千葉県小中学校体育連盟を通して、(財)日本中学校体育連盟に申し出なければならない。
- (6) 本年度学校医の検診時において異常なしと判断され、その後の活動状況から大会出場に差支えないと顧問が判断し、学校長が出場許可を与えた者。
- (7) 本大会に出場することに保護者が同意した者。
- (8) 参加する中学生の所属する教職員の引率を原則とする。
- (9) 参加資格の特例は次の通りとする。
 - ①学校教育法134条の各種学校に在学し、各支部の予選大会に参加し、千葉県中学校総合体育大会参加資格を得た者とする。
 - ②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア(財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問の指導のもとに、適切に行われていること。
- (10) 個人情報の取り扱い(利用目的)

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、(財)日本中学校体育連盟個人情報保護方針・規定に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表(記録集)等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

8. 参加制限

(1) 団体戦

- ①団体戦の出場校数は、各支部2校とする。ただし、団体戦支部予選参加校数が10校を超える支部は1校、15校を超える場合は2校を加えることができる。
- ②昨年度の千葉県中学校新人体育大会(柔道)において、優勝校・準優勝校が所属する支部は出場枠に1校を加えることができる。

ただし同支部の学校が2校入った場合、加えられる出場校数は1校とする。
- ③団体戦のチームは1校単位で編成したチームとする。
- ④男子団体戦の人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
- ⑤女子団体戦の人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。

(2) 個人戦

- ①個人戦は、男女8階級で、各階級とも各支部1名以内とする。
- ②今年度の千葉県中学校総合体育大会柔道大会（本大会）開催支部は、男女各階級とも出場枠に1名を加えることができる。
- ③前年度の千葉県中学校新人体育大会において、男子個人戦ベスト16以上、女子はベスト8以上、70kg級以上はベスト4以上に入った選手の所属する支部は、出場枠に1名を加えることができる
- ④同一階級において、同じ支部の選手が2名以上が勝ち上がっていた場合は、その人数分だけ県大会出場枠を増やすことができる。

～体重区分は次の通りとする～

| <男子> | | <女子> | |
|----------|------------------|----------|------------------|
| 「50kg級」 | → 50kg以下 | 「40kg級」 | → 40kg以下 |
| 「55kg級」 | → 50kgを超えて55kg以下 | 「44kg級」 | → 40kgを超えて44kg以下 |
| 「60kg級」 | → 55kgを超えて60kg以下 | 「48kg級」 | → 44kgを超えて48kg以下 |
| 「66kg級」 | → 60kgを超えて66kg以下 | 「52kg級」 | → 48kgを超えて52kg以下 |
| 「73kg級」 | → 66kgを超えて73kg以下 | 「57kg級」 | → 52kgを超えて57kg以下 |
| 「81kg級」 | → 73kgを超えて81kg以下 | 「63kg級」 | → 57kgを越えて63kg以下 |
| 「90kg級」 | → 81kgを超えて90kg以下 | 「70kg級」 | → 63kgを超えて70kg以下 |
| 「90kg超級」 | → 90kgを超える | 「70kg超級」 | → 70kgを超える |

- (3) 平成30年度千葉県中学校総合体育大会に1人1種目の出場であること。

9. 引率者・監督

- (1) 参加生徒の引率及び監督は当該校の校長・教員（非常勤講師は除く）であること。
- (2) 引率者・監督は審判員に準じた服装をすること。（千葉県小中学校体育連盟柔道専門部HP参照）

10. コーチ

出場校は監督の他に1名のみコーチとしてベンチに入れることができる。コーチとは当該校の監督でない教職員（内部コーチ）・それ以外（外部コーチ）とする。1校につき1名（他校と兼ねることはできない）を認め、所定の用紙を用いて届け出ること。

※コーチの条件とは次の通りである。

- (1) 当該校の校長が認めた者。
- (2) 年間を通じ、日頃から学校部活動の指導をしている者。
- (3) 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
- (4) 外部コーチは中学校の教員でない者。
- (5) 審判員に準じた服装をすること。（千葉県小中学校体育連盟柔道専門部HP参照）
- (6) 大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退去させることがある。

11. 計量・柔道衣点検

(1) 計量

- ①公式計量は時間内計量とし、個人戦については計量の回数は問わない。
団体戦の計量は1回のみとし、再計量は認めない。
- ②団体戦の公式計量では男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きにて計量する。
なお、下着の着用は認めるが、包帯やサポーター等の着用は一切認めない。
- ③個人戦の公式計量で時間内に体重区分にない者は失格となる。

(2) 柔道衣点検

- ①柔道衣点検は、設定時間内に大会本部係員が行い、試合出場時に審判員が最終確認を行う。
- ②全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿・帯）を着用することが望ましい。
柔道衣は国際柔道試合審判規定及び（少年大会特別規定）に定める材質、大きさでなければならない。
- ③試合で着用する柔道衣は柔道衣点検で合格したものであること。
点検後に破損などのやむを得ぬ理由で別の柔道衣を着用する場合は、当該試合場の審判員に申告し、柔道衣点検を受けなければならない。
- ④柔道衣に次に示すゼッケンを縫いつけて出場しなければならない。
 - I 布地は白色、サイズは 縦 25cm～ 30cm 横 30cm～ 35cm とする。
 - II 書体は太字ゴシック体（明朝又は楷書でもよい）とし、男子は黒色、女子は赤色とする。
 - III 名字（姓）は上側3分の2 学校名は下側3分の1に書く。
 - IV 縫い付けの場所は 後ろ襟から 5cm～10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける。
- ⑤女子は上衣の下に、白色か白に近い色の半袖のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
- ⑥柔道衣点検は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑦柔道衣の胸マーキング等について、所属中学校名称もしくは、所属中学校を表すエンブレムは可とする。道場名等は不可とする。

※ 関東大会・全国大会では、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿・帯）を着用することが、出場選手に義務づけられています。留意してください。

12. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018年4月施行のルール）及び国内における「少年大会特別規定」および日本中学校体育連盟柔道競技部の確認事項による。
- (2) 団体戦内の個々の対戦の判断基準は「技有」「僅差」以上とする。
（「僅差」とは「指導の差が2以上ある状況」を指す。）
- (3) 試合時間は団体戦・個人戦とも3分間とする。ただし、ゴールデンスコアは時間無制限とする。
- (4) (財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (5) 医師のいない大会においては、安全確保のために主催者の判断で選手を棄権させる場合がある。

【具体的方法】

- ① 審判、審判委員及び試合場統括は、試合前後及び試合中に「試合を行わせることが危険」と判断する事態が生じた場合、試合を中断する等、選手の行動を制止して本部に報告する。
 - ② 主催者は、柔道整復師とともに選手の様子を観察し、「試合を行わせることが危険」と判断したら、監督を本部に呼び、当該選手を棄権または出場させないことを告げる。
 - ③ 主催者は、棄権を申し渡した後、当該選手が出場する試合場に連絡し、必要な措置を行わせる。
- ☆この措置は平成24年度から千葉県小中学校体育連盟柔道専門部の主管大会において適用する。

(6) 脳振盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急専門医（脳神経科）の精査を受けること。）
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

13. 競技方法

(1) 団体戦

- ①男女ともトーナメント形式で行う。
- ②2チームの対抗方式は男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り試合で行う。
- ③チームの編成は男女とも大将を重いものとし、順次体重順とする。
- ④選手の交代は補欠で登録した選手との入れ替えとし、入れ替えた場合も体重順とする。
- ⑤オーダーは、変更の有無に関わらず、毎試合ごとに 所定の「オーダー変更届け」に記入、所定の封筒に入れて試合場係に提出すること。
- ⑥一度退いた選手の再出場は認めない。
- ⑦試合の勝敗は次の順によって決定する。
 - ア 勝ちの数より決定する。
 - イ 勝ちの数が同数の時は、内容により決定する。
 - ウ 内容も同数の時は、代表戦を1回行い決定する。
代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦を行い、得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

(2) 個人戦

- ①男女ともトーナメント形式で行う。
- ②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- ③優勢勝ち勝敗の判定基準は、「一本」「技有」とする。
得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
※個人戦の勝敗については、団体戦の個々の試合と同じように、本戦において技による得点差がなく、「指導」差2で試合が終了した場合は、僅差による「優勢勝ち」として勝敗を決する。
「指導」差1以内の場合は、時間無制限、GSによる延長戦を行う。
GSについては改正ルールを適用せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。（本年3月まで適用していた内容で試合を終了する。）

14. 表彰

以下に挙げる賞典を入賞校・入賞者に授与する。

- (1) 優勝旗：男女団体戦 優勝校。（持ち回り。次年度大会まで保管、次年度大会にて返還する。）
- (2) 優勝杯：男女団体戦 優勝校。（持ち回り。次年度大会まで保管、次年度大会にて返還する。）
- (3) 賞状：男子団体戦 ベスト8までに入賞した学校。
女子団体戦 第3位までに入賞した学校。
男女個人戦 第3位までに入賞した選手。
- (4) メダル：男女団体戦 第3位までに入賞した学校の登録選手。
男女個人戦 第3位までに入賞した選手。

15. 参加申込

(1) 申し込み方法①と②の両方の手続きを確実に行うこと

①参加校は、申込書を申し込み期限までにeメールにて柔道専門部事務局へ送信すること。

※申し込みは 7月22日(土)18時 必着分までとする。いかなる理由があっても、
申し込み期限を過ぎた場合は、本大会への参加は認められないものとする。

②参加校は、個人戦、団体戦申込書とコーチ申請書(職印を捺印したもの)を大会当日受付にて提出すること。

eメール申込期限 平成30年7月22日(日)18時00分まで(時間内必着)

申込先 千葉県小中学校体育連盟柔道専門部事務局

chibaken_chugaku_judo@yahoo.co.jp (申し込み専用)

※参加申込書のデータファイルには必ず「学校名」を入力し、「添付ファイル」にしてメールに添付すること。

※メールを送信する際も「件名」に必ず学校名を入力すること。

※申込書は、千葉県小中体連柔道専門部のホームページ
<http://chibajudo.com/> 「大会情報」から、ダウンロード
して使用してください。

※作成したデータはファイル名に「学校名」を入力し、「添付ファイル」にして送信すること

※メールを送信する際、「件名」にも必ず学校名を入力すること。

16. その他

(1) 参加申込提出後の「支部代表選手」の変更について

①団体戦においては、大会申込書提出後の選手の変更は一切認めない。

②個人戦においては、負傷等の理由により、支部代表選手の出場が不可能な場合は選手の変更を行うことができる。選手変更を行う際は、個人戦会期前日までに支部長が大会事務局に連絡をすること。また支部長は当日までに以下の書類を事務局(当日は本部)まで提出すること。

● 欠場選手 → 出場辞退届(選手所属校長の職印)

○ 出場選手 → 個人戦出場申込書(選手所属校長の職印)

(2) 大会中の負傷・疾病について

①救護役員(千葉県柔道連盟医事部・千葉県接骨師会・養護教諭部会)は応急手当のみ行う。

②本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。

③参加者は健康保険証(またはコピー)を持参することが望ましい。

④引率顧問は生徒の体調管理、疾病・負傷等の把握、大会参加についての指導を行うこと。

(3) IDカード

①大会参加申込書に記載された監督・コーチおよび来賓・役員にIDカードを貸与する。

②監督・コーチはベンチに入る際は必ずIDカードを身につけること。

③一階メインアリーナに入れる者は選手とIDカードをつけた来賓・監督・コーチ・役員のみとする。

④IDカードを登録者以外に貸与することを禁ずる。不正が発覚した場合は厳重に処分する。

⑤IDカードは大会終了後、直ちに返却ボックスまたは本部席へ返却すること。

⑥複数の顧問・コーチがいる場合でもIDカードをつけられるのは大会申込書に記載のあった者のみとする。大会申込書に記載のない場合はベンチに入ることができない。

- (4) オーダー用紙の作成および提出
参加校は模造紙 1 / 4 の大きさに、下記の要領でオーダー用紙を作成し、大会当日に計量会場で提出すること。

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|-----|
| 先鋒 | 次鋒 | 中堅 | 副将 | 大将 | 学校名 |
|----|----|----|----|----|-----|

【 男 子 】

| | | | | | |
|----|--|----|--|----|-----|
| 先鋒 | | 中堅 | | 大将 | 学校名 |
|----|--|----|--|----|-----|

【 女 子 】

- (5) 下足（外履き）の管理について
当日は下足置き場には下足を置かないこと。
下足は、来場者が袋を用意して観覧席に持っていくこと。
- (6) 練習会場について
東金アリーナ 2 階武道場を練習会場として解放する。
(荷物は放置しないこと。)
通路など、利用者の通行や活動の妨げになる場所での練習等は一切禁止する。
- (7) 式典（個人戦開会式・団体戦開会式・個人戦表彰式・団体戦表彰式・閉会式）について
①式典はプログラム掲載の次第に沿って挙げる。
②個人戦開会式には、個人戦出場選手全員が試合時の服装で参加すること。
③団体戦開会式には、団体戦出場校登録選手全員が試合時の服装で参加すること。
④個人戦表彰式には、男女ともベスト 4 に進出した選手が試合時の服装で参加すること。
⑤団体戦表彰式・閉会式には、男子団体戦ベスト 8 ・女子団体戦ベスト 4 進出校が試合時の服装で参加すること。
⑥個人戦開会式における選手宣誓は、今大会開催支部の代表選手がこれを行う。
⑦団体戦開会式における賞典（男子優勝旗・女子優勝杯）の返還は、前年度優勝校の代表選手がこれを行う。
※開閉会式挙行にあたり、参加選手は係の指示に従って速やかに整列してください。監督、顧問、役員は会場前方に整列してください。また、応援・観客の皆様は会場全体の厳粛な雰囲気づくりにご協力ください。

- (8) 千葉県新人体育大会柔道大会への出場増枠について

(ア) 男子

- ・今大会でベスト 16 に入った選手が所属する支部は、今年度の千葉県新人体育大会柔道大会の当該階級出場枠に 1 名を加えることができる。
- ・同支部の選手が 2 名以上ベスト 16 に入った場合は、その人数分だけ加えることができる。

(イ) 女子

- ・40 kg 級から 63 kg 級は今大会でベスト 8 に入った選手が所属する支部は、今年度の千葉県新人大会柔道大会の当該階級出場枠に 1 名を加えることができる。
- ・70 kg 級と 70 kg 超級は今大会でベスト 4 に入った選手が所属する支部は、今年度の千葉県新人体育大会柔道大会の当該階級出場枠に 1 名を加えることができる。
- ・同支部の選手が 2 名以上ベスト 8（70 kg 級と 70 kg 超級はベスト 4）に入った場合は、その人数分だけ加えることができる。

(9) 全国大会・関東大会について

①全国大会

ア 会場 広島県立総合体育館
(広島県広島市中区基町4-1)
イ 会期 8月17日(金)～20日(月)
ウ 代表枠 男女団体戦 各1校 男女個人戦 各階級1名

②関東大会

ア 会場 東京武道館
(東京都足立区綾瀬3-20-1)
イ 会期 8月8日(火)～10日(木)
ウ 代表枠 男子団体戦 4校 女子団体戦 3校
男子個人戦 各階級3名 女子個人戦 各階級2名

(10) 役員の集合時刻

役員の集合時刻は次の通りです。円滑な大会運営のため、時間厳守で集合してください。

7/26(木)

17時00分 集合・・・山武支部(昼搬入・会場設営及び諸準備のため)

7/27(金)・28(土)

専門部会議で指示・・・本部(総務)役員、駐車場係、警備係、山武支部
専門部会議で指示・・・計量係、柔道衣検査係、受付係
会場責任者(補助役員)、式典係、記録係

7時55分 集合・・・上記以外の役員・係員

9時00分 集合・・・審判員(審判会議 9:10開始)

(11) 大会までの会議日程

プログラム編成会議・係会議 平成30年7月23日(月) 13:00～ 船橋市立湊中学校 その他
専門部会議 平成30年7月24日(火) 14:00～ 千葉市立みつわ台中学校

(12) 連絡先

①大会開催前

千葉県小中学校体育連盟柔道専門部
委員長 高品 亮輔

〒299-5103 千葉県夷隅郡御宿町新町68
御宿町立 御宿中学校 内

TEL 0470-68-2101 FAX 0470-68-2813

②大会期間中

大会本部

※大会会場・東金アリーナへの大会運営に関する問い合わせは、施設業務の妨げになりますので
ご遠慮ください。

※ 各支部長の先生方へ

各支部長は、支部報告書(個人戦出場者、団体戦出場校一覧)を作成し、期日までに
eメールにて千葉県小中学校体育連盟柔道専門部事務局へ送信すること。

締切期日 平成30年7月22日(日) 18時00分

事務局メールアドレス chibaken_chugaku_judo@yahoo.co.jp

※作成したデータはファイル名に「支部名」を入力し、「添付ファイル」にして送信すること。

※メールを送信する際、「件名」にも必ず支部名を入力すること。

※申込書は、千葉県小中体連柔道専門部のホームページ <http://chibajudo.com/>「大会情報」から、
ダウンロードして使用してください。